

■ ウェビナーの実施

■実施日時： 2021年3月23日（火） 15：00～17：00（120分）

■主催： 沖縄県 文化観光スポーツ部観光政策課

■参加用ページ：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rKyDBOiSRzWPvmXDarObVg

■プログラム（予定）：

『～沖縄県がアフターコロナを見据えて6つのモデルプランを発表～
心身ともにリフレッシュ&アイデア創発も！「沖縄ワーケーション」のススメ』

◆第一部（講演）

・沖縄におけるワーケーションの可能性（20分）

-登壇者：株式会社JTB総合研究所 主席研究員 山下真輝

・沖縄ワーケーション：地域特性を活かした6つのモデルプランご紹介（20分）

-登壇者：沖縄県文化観光スポーツ部 部長 渡久地一浩

・やってみてわかった！「新しい働き方」実践ライターがレポートする、
沖縄ワーケーション・モニターツアー（20分）

-登壇者：ワーケーション・プランナー/編集者&ライター 児玉真悠子

◆第二部（トークセッション）

・沖縄ワーケーション活用術：「家族同伴ワーケーション」を成功させるには？（30分）

-モデレーター：沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課 主任 杉浦凱

-セッション参加者（予定）：

・株式会社JTB総合研究所 主席研究員 山下真輝

・ワーケーション・プランナー/編集者&ライター 児玉真悠子

・沖縄ワーケーション・モニターツアー参加者

・沖縄ワーケーションサポート事業者（コワーキングスペース howlive）

・質疑応答（15分）

■登壇者プロフィール



渡久地 一浩

沖縄県文化観光スポーツ部 部長



山下 真輝

主席研究員 @（株）JTB総合研究所

1993年株式会社ジェイティービーに入社。観光を基軸とした地域活性化を進める地域交流プロジェクトをJTB全社で推進し、全国各地の観光振興に関わるプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。2017年にJTB本社日本版DMOサポート室長として全国各地のDMO形成に関わり、2018年4月より現職。内閣府地域活性化伝道師登録。観光による地域活性化のための計画・戦略の策定、人材育成、旅行商品開発を専門とする。近年はスポーツツーリズム、アドベンチャーツーリズム分野の調査研究も手掛ける。内閣府地域活性化伝道師として全国の観光振興政策を支援。



児玉 真悠子

ワーケーション・プランナー/「新しい働き方」を実践する編集者&ライター @フリーランス

1980年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、複数の出版社に勤務。ダイヤモンド社で書籍編集をしながら、2度の育休を経て「仕事も暮らしも充実させる生き方」を模索しフリーランスに。2021年、株式会社ソトエを創業。親子向けのワーケーション企画やプロモーションを行う「親子deワーケーション」や地方の魅力を発信する「まちの編集」事業を展開する。一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会「フリパラ編集部」&地方創生チーム所属。小学生2児の母。

■ ウェビナーの実施

■ イベント事前リリース

報道関係各位

2021年3月16日
沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課

「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する 無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催

沖縄県では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、リモートワークなどの働き方や生活様式が変動したことを背景に、新たな観光ツールとしてワーケーションの確立、誘致促進と認知拡大を図るため「沖縄ワーケーション促進事業」を2020年10月より実施しております。

この度、沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを、3月23日（火）15:00～17:00に開催いたしますのでお知らせします。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rKyDBOISRzWPvMXDarObVg



「沖縄ワーケーション促進事業」では、豊かな自然や穏やかな雰囲気の中、年間を通して「密にならない」屋外アクティビティが楽しめる沖縄の資源を活用しながら、心身ともにリフレッシュして生産性の高い仕事ができる沖縄ワーケーションを提案します。

今年度は、ワーケーションに対するニーズや県内のワーケーション受け入れ環境についての調査、離島を含む県内地域毎の特性を活かした沖縄ならではのモデルプランの作成、モニターツアー、プロモーションを実施しております。

沖縄県は、今回の調査を通じて明らかになったニーズをもとに、沖縄の豊かな自然を活用し健康価値向上を図る「ウェルネス・ワーケーション」と、リラックスしながらチーム力を高め、能力開発を図る「チームビルディング・ワーケーション」の2つのプログラムを開発。その検証として、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の社員5名とご家族3名の計8名に参加いただき、北部（やんばる）と中部（読谷）の2エリアでモニターツアーを実施しました。

そしてこの度、モニターツアーの様子や6つのモデルプランなどを発表する無料ウェビナー『～沖縄県がアフターコロナを見据えて6つのモデルプランを発表～心身ともにリフレッシュ&アイデア創発も！「沖縄ワーケーション」のススメ』を3月23日（火）15:00から開催します。

本ウェビナーは2部制となっており、第1部では「6つの沖縄ワーケーション・モデルプラン」の発表とその開発背景、事前に実施したモニターツアーの様子などを紹介。第2部では「沖縄での家族同伴ワーケーション」を成功させるためのポイントや注意点、おすすめの過ごし方などを旅行業界関係者や家族同伴（子連れ）ワーケーション検討者、ワーケーションサポート事業者など、様々な視点を交えたトークセッション形式で展開します。

ワーケーション導入を検討されている企業や、ワーケーションに関心のある個人（ビジネスパーソン）の方など、多くの方のご参加をお待ちしています。

■ ウェビナーの実施

■ イベント事前リリース

▼ 「沖縄ワーケーション促進事業」について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「新しい生活様式」として、都市と地域の両方で働く新たな暮らしのスタイルが求められている今、沖縄県は2つの戦略を持ってワーケーションを推進しております。

一つ目は、沖縄県の新たな観光ツールとしてのワーケーションを確立させていきます。二つ目に、沖縄ワーケーションを定着させ、交流人口から関係人口の創出・拡大に繋げていきます。そのために今年度は沖縄県のワーケーション創世期として、ニーズ・受入環境の調査、沖縄ワーケーション・モデルプランの作成、モニターツアー、プロモーションの実施に取り組んでおります。次年度以降は、造成したモデルプランを活用し、関係者やメディアを招聘するなど、誘致促進を行ってまいります。

ワーケーションには「三密回避」といったコロナ禍において生まれた新しい価値観、「健康意識の向上」などのニーズの変化、リモートワークという新しい働き方から生まれる「社員交流の減少」や「労働環境改善」といった企業の課題などがあるとされています。その中で沖縄県は、美しい海や豊かな自然、穏やかな雰囲気の日日常空間で、心身ともにリフレッシュしながらも、快適かつ生産性の高い仕事ができる環境を備えた、沖縄県ならではのワーケーションを提案していきます。

その検証として、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の社員5名とご家族3名の計8名に参加いただき、北部（やんばる）と中部（読谷）の2エリアでモニターツアーを実施しました。

■ モニターツアー参加者の感想

「仕事と観光を両立できるのか不安だったが、通信環境も問題なく、リモート打ち合わせもでき、仕事がしづらいつというストレスは感じなかった。事前にツアー行程を考えていた分、タイムマネジメントもしやすく感じた」（30代・男性）

「他部署メンバーとコミュニケーションできることが新鮮で、所属する部署以外の色々な話が聴けたのが印象的だった。またリモート勤務時には1日100歩しか歩かないこともあり、夜眠れないこともあったが、沖縄ではアクティビティによる程よい疲労感があるため、深く眠れたのが嬉しかった」（20代・女性）

「家族と一緒にワーケーションができるか不安だったが、旦那さんに子どもをみてもらう間に仕事に集中することができ、“やればできる”ということが良く分かったし、家族の絆も深まった気がする」（30代・女性/家族同伴ツアー参加）

「リモートワークが増え、毎日同じ環境にいることに飽きが来ていた。そんな中、海や緑に囲まれた非日常感あふれる沖縄では心身ともにリラックスできたとし、沖縄では花粉症を感じることも無かったので、くしゃみなどで緊張状態だった体も緩和された気がする。次回はやんばるだけでなく、沖縄の色々な観光地を回りながら1か月以上ワーケーションをしてみたい」（40代・男性）

「沖縄ではスマホやSNSをあまり見ることなく、デジタルデトックスの効果もあった。その空いた時間を、ぼーっと考え事をしたり、いつもはあまり読まない本を読む時間にしたり、みんなと会話することにあてられて、有意義だった」（20代・男性）



■ ウェビナーの実施

■ イベント事前リリース

▼ ウェビナー概要

- 実施日時： 2021年3月23日(火) 15:00~17:00 (120分)
- 主催： 沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課
- 参加用ページ：https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_rKyDB0iSRzWPvmXDarObVg
- プログラム(予定)：
『～沖縄県がアフターコロナを見据えて6つのモデルプランを発表～
心身ともにリフレッシュ&アイデア創発も！「沖縄ワーケーション」のススメ』

◆第一部(講演)

- ・沖縄におけるワーケーションの可能性 (20分)
-登壇者：株式会社JTB総合研究所 主席研究員 山下真輝
- ・沖縄ワーケーション：地域特性を活かした6つのモデルプランご紹介 (20分)
-登壇者：沖縄県文化観光スポーツ部 部長 渡久地一浩
- ・やってみてわかった！「新しい働き方」実践ライターがレポートする、
沖縄ワーケーション・モニターツアー (20分)
-登壇者：ワーケーション・プランナー/編集者&ライター 児玉真悠子

◆第二部(トークセッション)

- ・沖縄ワーケーション活用術：「家族同伴ワーケーション」を成功させるには？ (30分)
-モデレーター：沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課 主任 杉浦凱
-セッション参加者(予定)：
・株式会社JTB総合研究所 主席研究員 山下真輝
・ワーケーション・プランナー/編集者&ライター 児玉真悠子
・沖縄ワーケーション・モニターツアー参加者
・沖縄ワーケーションサポート事業者(コワーキングスペース howlive)
- ・質疑応答 (15分)

■登壇者プロフィール



渡久地 一浩
沖縄県文化観光スポーツ部 部長



山下 真輝
主席研究員 @ (株) JTB 総合研究所
1993年株式会社ジェイティービーに入社。観光を基軸とした地域活性化を進める地域交流プロジェクトをJTB全社で推進し、全国各地の観光振興に関わるプランニング・調査研究・旅行商品開発に従事。2017年にJTB本社日本版DMOサポート室長として全国各地のDMO形成に関わり、2018年4月より現職。内閣府地域活性化伝道師登録。観光による地域活性化のための計画・戦略の策定、人材育成、旅行商品開発を専門とする。近年はスポーツツーリズム、アドベンチャーツーリズム分野の調査研究も手掛ける。内閣府地域活性化伝道師として全国の観光振興政策を支援。



児玉 真悠子
ワーケーション・プランナー/「新しい働き方」を実践する編集者&ライター @フリーランス
1980年生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、複数の出版社に勤務。ダイヤモンド社で書籍編集をしながら、2度の育休を経て「仕事も暮らしも充実させる生き方」を模索しフリーランスに。2021年、株式会社ソトエを創業。親子向けのワーケーション企画やプロモーションを行う「親子 de ワケーション」や地方の魅力を発信する「まちの編集」事業を展開する。一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会「フリパラ編集部」と地方創生チーム所属。小学生2児の母。

< 本件に関する報道関係者のお問い合わせ先 >

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課 杉浦
TEL:098-866-2763 MAIL: sugiurag@pref.okinawa.lg.jp

「沖縄ワーケーション促進事業」PR事務局(株式会社サステナブル内) 有山・阿部
TEL 03-3376-6665 MAIL: g.ariyama@sustainable.co.jp

■ ウェビナーの実施

■ メディア露出（事前）

NO.	掲載日	媒体名	タイトル
1	2021/03/16	沖縄経済新聞	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動
2	2021/03/16	トラベルニュース	沖縄でワーケーションはいつか、3月23日にオンラインセミナー
3	2021/03/16	ソロトリー	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催（沖縄県）
4	2021/03/16	ニッポンふるさとプレス	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
5	2021/03/16	PR TIMES	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催（Twitter： https://twitter.com/PRTIMES_JP/status/1371630503787294723 ）
6	2021/03/16	時事ドットコム	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
7	2021/03/16	エキサイトニュース	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
8	2021/03/16	BIGLOBE	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
9	2021/03/16	iza	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
10	2021/03/16	おたくま経済新聞	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
11	2021/03/16	@niftyビジネス	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
12	2021/03/16	産経ニュース	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
13	2021/03/16	とれまがニュース	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
14	2021/03/16	Infoseek ニュース	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
15	2021/03/16	STRAIGHT PRESS	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
16	2021/03/16	Jbpress	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
17	2021/03/16	東洋経済オンライン	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
18	2021/03/16	Techable	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
19	2021/03/16	CNET JAPAN	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
20	2021/03/16	All About NEWS	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
21	2021/03/16	朝日新聞デジタル&M	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
22	2021/03/16	ジョルダンニュース！	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
23	2021/03/16	ニコニコニュース	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
24	2021/03/16	PRESIDENT Online	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
25	2021/03/16	経経新聞	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
26	2021/03/16	マピオンニュース	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
27	2021/03/16	RBBTODAY	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
28	2021/03/16	現代ビジネス	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
29	2021/03/16	NewsCafe	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
30	2021/03/16	フレッシュアイ	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
31	2021/03/16	@DIME	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
32	2021/03/16	BtoBプラットフォーム	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
33	2021/03/16	OSDN Magazine	「沖縄ワーケーション促進事業」が本格始動 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日（火）15:00より開催
34	2021/03/17	U-NOTE	自然の中なら新しいアイデアを生み出せるかも！無料ウェビナー「沖縄ワーケーションのススメ」3月23日開催（Twitter： https://twitter.com/unote_jp/status/1372033974185439236 ）
35	2021/03/17	Forbes JAPAN	コロナ禍の花粉症対策、「NO花粉県」で避粉ワーケーション
36	2021/03/17	Yahoo!ニュース	コロナ禍の花粉症対策、「NO花粉県」で避粉ワーケーション
37	2021/03/17	NEWS PICKS	コロナ禍の花粉症対策、「NO花粉県」で避粉ワーケーション
38	2021/03/17	msnマナー	コロナ禍の花粉症対策、「NO花粉県」で避粉ワーケーション
39	2021/03/17	ニュートビ1	コロナ禍の花粉症対策、「NO花粉県」で避粉ワーケーション
40	2021/03/18	Livhub	沖縄県、沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日開催
41	2021/03/18	観光日本	沖縄県、沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナーを3月23日開催
42	2021/03/18	TravelVoice×ワーケーション実践ガイド	沖縄県のワーケーション事業が本格始動、3/23にウェビナーを開催（Twitter： https://twitter.com/WorkationGuide/status/1372390990284197899 ）
43	2021/03/18	SHIFT+LOCAL	無料オンラインセミナー「沖縄ワーケーションのススメ」3/23開催！県独自のモデルプランやトークセッションなど目白押し
44	2021/03/22	HOTELIER	心身ともにリフレッシュ＆アイデア創発も！「沖縄ワーケーション」のススメ
45	2021/03/22	児玉真悠子 編集者@親子deワーケーション	明日の16時から、沖縄県主催「沖縄ワーケーションのススメ」というイベントに登場します！ https://us02web.zoom.us/join?pwd=OWRkODI0R2pWcmh0a0R0VjVzZDZkdz09 県が開催している6つのモデルプランの謎が聞けますよー！！
46	2021/03/23	fuuma	【沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課主催】 沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナー（Twitter： https://twitter.com/fuuma2020/status/1371645088804139009 ）

■ ウェビナーの実施

JTBベネフィット会員向けメールマガジンによるウェビナー告知
発信日:2021年3月10日/17日

JTB Benefit

このメールマガジンは、JTBベネフィット会員の皆様へお届けするメールマガジンです。最新の情報やサービスのご案内、イベントのご案内、お問い合わせ先など、JTBベネフィット会員の皆様へお届けするメールマガジンです。

EVP

【沖縄県主催ウェビナー】
心身ともにリフレッシュ＆アイデア創発も！
「沖縄ワーケーション」のススメ

このお話しは、JTBの最新情報です。

今回は、地方自治体が発注するエッセイ（巻物の）企画開催のウェビナー（講演）をご紹介します。
本メールマガジンに添付しているウェビナー（オンラインセミナー）は、「社会生活支援センター」が「心身ともにリフレッシュ」などの効果！ 心身の健康を促すだけでなく、アイデア創発にも効果的だといわれています。

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課 主催 オンライン無料ウェビナー

〜沖縄県がアフターコロナを見据えて6つのモデルプランを発表〜
心身ともにリフレッシュ＆アイデア創発も！
「沖縄ワーケーション」のススメ

沖縄では、社会ニーズやワーケーション推進施策も進んでいます。そこから目を惹かれるのが「ワーケーション」です。ワーケーションのメリットやデメリット、心身の健康を促すだけでなく、アイデア創発にも効果的だといわれています。

本ウェビナーでは、沖縄県が発表した「6つのワーケーション・モデルプラン」の概要や、ワーケーションのメリットやデメリット、「ワーケーションを推進させるには？」をテーマにした質疑応答セッションなどを行います。この機会にぜひ参加ください。お申し込みは、[こちら](#)からお願いします。

開催日時：3月23日（火）15:00～17:00

【このように案内されます】

- ・沖縄のワーケーションに関心のある企業家や経営者の方
- ・ワーケーション導入を検討されている企業（人事・総務・営業）の方
- ・ワーケーション導入を検討されている個人（ビジネス・マナー）の方
- ・観光事業者の方、ワーケーションに関心のある方
- ・観光庁や観光政策、人材開発に関心のある方
- ・社会生活支援センターの最新情報に関心のある企業の方



【登壇者】
沖縄県文化観光スポーツ部 部長 豊原 三太郎氏 (Kazuhiro Toge) 氏



【登壇者】
JTB総合研究所 所長 山下 真樹氏 (Masayuki Yamada) 氏



【登壇者】
「働く心躍らせ方」をテーマとした講演者 高木 真由子氏 (Mariya Kodama) 氏

詳細を見る

ウェビナー情報②

コスト削減や働き方改革に効く！

これからのオフィス戦略

テレワークの定着で注目されているコスト削減や働き方改革の課題を解決し働くオフィス戦略について、2名の講演者がご講演します。

開催日時：3月18日（木）11:00～12:00

【このように案内されます】

- ・人事戦略や働き方改革を推進している企業（人事・総務・営業）の方
- ・オフィスに勤務する従業員の働き方改善に関する経営者、経営者向上の推進者
- ・働き方改革推進プロジェクト担当者や推進したい人事、総務担当者様



【登壇者】
株式会社ワークスワン
代表取締役
中村 裕太 (Yuta Nakajima) 氏

【登壇者】
株式会社アイエス・シー
代表取締役
森田 浩二 (Hiroyuki Mori) 氏



【登壇者】
株式会社ワークスワン
人事総務部長兼人事課長
中村 裕太 (Yuta Nakajima) 氏

詳細を見る

ウェビナー情報③

テレワーク「おうち育児」に！
子どもを伸ばす自己肯定感の高め方

子育て世代の育育に効く「おうち育児」の知恵を教えてください。子育てで大切な「子どもの自己肯定感」の高め方を紹介します。

開催日時：3月18日（木）14:00～15:00

【このように案内されます】

- ・子育て世代の育育に効く「おうち育児」の知恵を教えてください。
- ・子育てで大切な「子どもの自己肯定感」の高め方を紹介します。
- ・子育てで大切な「子どもの自己肯定感」の高め方を紹介します。



【登壇者】
PERSONAL STUDY 株式会社
行動力向上プロジェクトマネージャー
中村 裕太 (Yuta Nakajima) 氏

【登壇者】
企業文化研究の第一人者として活躍中。
企業文化研究の第一人者として活躍中。
企業文化研究の第一人者として活躍中。
企業文化研究の第一人者として活躍中。

詳細を見る

お役立ち資料

企業がSDGs達成に貢献するために

日本企業は、SDGs達成に向けて、2019年と比べて約2倍の多くの企業がSDGsに取り組んでいます。企業はSDGs達成に向けて、2019年と比べて約2倍の多くの企業がSDGsに取り組んでいます。



詳細を見る

はたらくサブリWEBページ



人事・総務の業務をサポートするツールとして、企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。

詳細を見る

はたらくサブリFacebookページ



企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。

詳細を見る

SDGsの達成に向けて、2019年と比べて約2倍の多くの企業がSDGsに取り組んでいます。

企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。

企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。企業文化研究の第一人者として活躍中。

SDGsの達成に向けて、2019年と比べて約2倍の多くの企業がSDGsに取り組んでいます。

■ ウェビナーの実施

イベント事後リリース

報道関係各位

2021年3月24日
沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課

【イベントレポート】
「これまで気づけなかった、沖縄での新しい過ごし方、
新しい魅力を、ワーケーションを通じて是非体験いただきたい。」
沖縄県がワーケーションの魅力やモデルプランをウェビナーで発表

沖縄県では新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、リモートワークなどの働き方や生活様式が変動したことを背景に、新たな観光ツールとしてワーケーションの確立、誘致促進と認知拡大を図るため「沖縄ワーケーション促進事業」を2020年10月より実施しております。

その一環として、この度、3月23日（火）15:00より、沖縄ワーケーションの魅力やモデルプランを発表する無料ウェビナー『～沖縄県がアフターコロナを見据えて6つのモデルプランを発表～心身ともにリフレッシュ&アイデア創発も！「沖縄ワーケーション」のススメ』を開催しました。



本ウェビナーは2部制となっており、第1部では「6つの沖縄ワーケーション・モデルプラン」の発表とその開発背景、事前に実施したモニターツアーの様子などを紹介。第2部では「沖縄での家族同伴ワーケーション」を成功させるためのポイントや注意点、おすすめの過ごし方などを旅行業界関係者や家族同伴（子連れ）ワーケーション体験者、ワーケーションサポート事業者など、様々な視点を交えたトークセッション形式で展開しました。

アーカイブ動画はこちらよりご覧いただけます。

URL：<https://youtu.be/spggttSQuCpg>

沖縄県文化観光スポーツ部のプレゼン資料は、こちらよりご覧いただけます。

URL：<https://drive.google.com/file/d/14JGDBsIRTIlow7SjYtIWLgfFvxqWgoM/view?usp=sharing>

◆ 第一部（講演）

沖縄におけるワーケーションの可能性について

— 登壇者：株式会社 JTB 総合研究所 主席研究員 山下真輝氏

沖縄県の現状と課題の解決策として、長期滞在型ワーケーションの推進について講演。

沖縄県内のコワーキングスペースや宿泊施設など、ワーケーション拡大に向けた施設整備の促進や、沖縄県が持つ自然や文化などの価値とワーケーションを掛け合わせた旅行商品の企画アイデアについて発表しました。

山下氏は「沖縄でのワーケーションは、物見遊山的な観光スポット巡りというよりも、その土地のことを深く知っていただくような旅のスタイルに変わっていく一つのきっかけになるのではないかと感じております。」と、沖縄でのワーケーションの可能性についてコメントしました。



■ ウェビナーの実施

イベント事後リリース

沖縄ワーケーション：地域特性を活かした6つのモデルプランご紹介

—登壇者：沖縄県文化観光スポーツ部 部長 渡久地一浩

働き方や生活様式など、コロナ禍によって社会ニーズが変化したことを背景に、沖縄県が有する自然や文化などの価値を掛け合わせて生み出した、大自然を活用し健康価値向上を図る「ウェルネス・ワーケーション」と、リラックスしながらチーム力を高め、能力開発を図る「チームビルディング・ワーケーション」の2つの要素をベースに作成した、6つワーケーション・モデルプランについて発表。渡久地は「沖縄には地域ごとの多種多様な魅力があり、それに伴って様々なワーケーションニーズへの対応が可能です。これまでは気づかなかった沖縄での新しい過ごし方、新しい魅力を是非ワーケーションを通じて、体験いただくと幸いです。」とコメントしました。



やってみてわかった！「新しい働き方」実践ライターがレポートする、沖縄ワーケーション・モニターツアー

—登壇者：ワーケーション・プランナー/編集者&ライター 児玉真悠子氏

モニターツアーの体験をもとに、「オンとオフの切り替えがしづらい」、「業務効率が落ちそう」というイメージを持たれることが多いワーケーションに対し、「SELF ～心身ともに健康でいられる～」、「WORK ～仕事への効果、社員同士の交流～」、「FAMILY ～家族・夫婦の忘れられない思い出～」という3つの点から新たな沖縄ワーケーションの魅力を解説。

児玉氏は自身のツアー体験から、「ジップラインのようなスリリングなアクティビティはチームビルディングに非常に有効なのではないかと感じました。」とコメントしました。

また、「元々、観光資源が豊富であるため、アクティビティが豊富な沖縄は社内交流目的の研修の場としての可能性も感じました。」と沖縄ワーケーションの魅力についてコメントしました。



◆第二部（トークセッション）

沖縄ワーケーション活用術：「家族同伴ワーケーション」を成功させるには？

—モデレーター：沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課 主任 杉浦凱

—参加者：株式会社 JTB 総合研究所 主席研究員 山下真輝氏

ワーケーション・プランナー/編集者&ライター 児玉真悠子氏

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 河合亮介氏

コワーキングスペース「howlive」 金子智一氏、木下勝彦氏

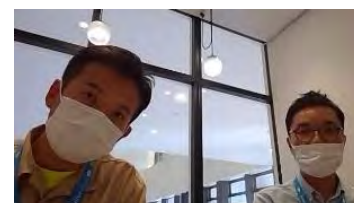
「家族同伴ワーケーション」を大きなテーマに、各登壇者の視点から、沖縄だからこそできる家族体験についてトークセッションを展開。沖縄での家族同伴ワーケーションにおける「不安」や「メリット」、沖縄県の今後のワーケーション事業展望を踏まえた上での「期待」などについて意見を交わしました。



株式会社 JTB 総合研究所 山下真輝氏



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
河合亮介氏



コワーキングスペース「howlive」
金子智一氏（左）、木下勝彦氏（右）

■ ウェビナーの実施

イベント事後リリース

【登壇者のコメント】

「モニターツアーに参加し、沖縄のワーケーションの魅力として感じたのは、海と山とクラフト、アート体験がぎゅっとつまっているところです。乗馬と手びねりが同じ施設内にあるなど、多くの魅力が詰まっている場所だなと実感しました。自分の子供たちを連れていきたいなと思いました。」

(児玉真悠子氏)

「(今回のモニターツアーでの体験を)息子にも体験させたいなと率直に思いました。SDGsの観点とかは小学生の学習指導要領に入っていたりもするので、生物多様性や大自然を実際に体験することができる環境があるというのは、沖縄が家族同伴ワーケーションとして選ばれる要素の一つになるのかなと思います。」(河合亮介氏)

「デジタルの時代に、子供にどれだけアナログなものに触れさせてあげられるかが、私のこれからの責任かなと思います。これからワーケーションに来る人とその子供には、都会で体験できないようなことを是非、五感で感じてもらい、子供たちが汗をいっぱいかいてコロンと寝てしまう体験をしてほしいと思います。」(金子智一氏)

「沖縄の人は、自然と向き合いながら、自分たちの文化やアイデンティティ、家族や友達との絆をととても大切にしている。ワーケーションで滞在しながら、地域の人との対話の中で沖縄の暮らしを感じられることが、醍醐味じゃないかなと思います。」(山下真輝氏)

▼ 「沖縄ワーケーション促進事業」について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「新しい生活様式」として、都市と地域の両方で働く新たな暮らしのスタイルが求められている今、沖縄県は2つの戦略を持ってワーケーションを推進しております。

一つ目は、沖縄県の新たな観光ツールとしてのワーケーションを確立させていきます。二つ目に、沖縄ワーケーションを定着させ、交流人口から関係人口の創出・拡大に繋げていきます。そのために今年度は沖縄県のワーケーション創世期として、ニーズ・受入環境の調査、沖縄ワーケーション・モデルプランの作成、モニターツアー、プロモーションの実施に取り組んでおります。次年度以降は、造成したモデルプランを活用し、関係者やメディアを招聘するなど、誘致促進を行ってまいります。

ワーケーションには「三密回避」といったコロナ禍において生まれた新しい価値観、「健康意識の向上」などのニーズの変化、リモートワークという新しい働き方から生まれる「社員交流の減少」や「労働環境改善」といった企業の課題などがあるとされています。その中で沖縄県は、美しい海や豊かな自然、穏やかな雰囲気の日日常空間で、心身ともにリフレッシュしながらも、快適かつ生産性の高い仕事ができる環境を備えた、沖縄県ならではのワーケーションを提案していきます。

【沖縄県文化観光スポーツ部 部長 渡久地一浩よりメッセージ】



「はいさいぐすーよ ちゅーうがなびら。(こんにちは、皆さんご機嫌いかがですか?)
新型コロナウイルス感染症の影響により企業・個人の働き方に大きな変化が生まれ、多くの企業ではテレワークが導入される中、沖縄本来の魅力を活用し、非日常的な体験ができる沖縄でのワーケーションは、今後の沖縄観光にとって大きな強みになると考えております。
Go To キャンペーンの一時停止などもあり、沖縄に来たくても来られなかった観光客の皆様や、全国の沖縄ファンの皆様には、「旅行」と「仕事」を融合した「ワーケーション」を、是非沖縄で体験し、沖縄の新たな魅力を発見して頂ければと思います。
いっぺーにふえーでーびる。(本当にありがとうございます)」

■ ウェビナーの実施

イベント事後リリース

▼ 6つの沖縄ワーケーション・モデルプラン

沖縄県は、調査を通じて明らかになったニーズをもとに、沖縄の豊かな自然を活用し健康価値向上を図る「ウェルネス・ワーケーション」と、リラックスしながらチーム力を高め、能力開発を図る「チームビルディング・ワーケーション」の2つの方向性を導出。それらをベースに、地域の特性を活かした6つのモデルプランを作成し、今回のウェビナーで発表しました。

①那覇エリア「オン・オフバランス型」

都市機能と首里・琉球文化が融合した那覇エリアでは、仕事の合間に首里を散策したり、ギャラリーを巡って伝統工芸体験をするなど、オンとオフのバランスを取りながらのワーケーションが可能です。チーム・ビルディングでは、壺屋焼き職人体験や沖縄料理体験など、文化体験を通じた社員同士のコミュニケーションもおすすめてです。

②南部エリア「のんびりリラックス型」

自然と土地の文化が融合した南部エリアでは、のどかな風景の中、のんびりリラックスしながらのワーケーションが可能です。世界遺産でもある「斎場御嶽」に参拝して心を整えたり、漁師町めぐりや“道の駅”で地元の新鮮な魚や食材に触れるなど、普段よりもペースを落とし、働き方を見つめ直してみるのもおすすめてです。

③中部エリア「文化刺激型」

都市機能と多様な文化が融合した中部エリアでは、グスク（城）や集落などの歴史文化から、やちむんなどの工芸文化、そして異国情緒溢れる多国籍文化まで、沖縄の“チャンプルー（ごちゃ混ぜ）”なカルチャー体験が可能です。様々な文化に刺激を受けることで、仕事のアイデア創発も期待できるプランです。

④北部エリア「ネイチャーリフレッシュ型」

自然豊かなやんばるの森や、長寿文化が息づく北部エリアでは、鳥の鳴き声や土の匂い、新鮮な空気など、五感を通じてリフレッシュし、すっきりと集中して仕事をするのが可能です。トレッキングなど身体を動かすアクティビティも体験でき、運動不足やストレスの解消、家族や社員同士のコミュニケーションも深まります。

⑤宮古エリア「マリンリゾート型」

沖縄の代名詞とも言える青い海で有名な宮古エリアでは、目の前に海を感じる解放的かつ非日常空間の中、フレッシュな気持ちで仕事に取り組むことができます。余暇の時間では、SUPやシュノーケル、ビーチヨガなどのマリンアクティビティや、島の食堂で食べる新鮮な魚料理など、国内屈指のマリンリゾートを存分に楽しむことが可能です。

⑥八重山エリア「自然体験宝庫型」

星空保護区にも指定されている、豊かな自然を有する八重山エリアでは、島ごとの特色を活かしたバリエーション豊かな「自然体験」を楽しむことが可能です。家族とのんびり過ごしたい方は、石垣島でサイクリングや星空ナイトクルーズなどを楽しんでも良いですし、アドベンチャー好きな方であれば、個人や会社のチームで西表島トレッキングに挑戦することも可能です。八重山エリアのワーケーションでは、自然に囲まれた非日常空間での仕事に加え、余暇の時間では、自分や家族の好きな過ごし方、ペースを自由に選ぶことができます。

全6エリアのモデルプラン詳細は、こちらからダウンロードいただけます

URL：<https://drive.google.com/file/d/14JGDBsIRTIlowl7SJYtIWLgfFvxqWgoM/view?usp=sharing>

■ ウェビナーの実施

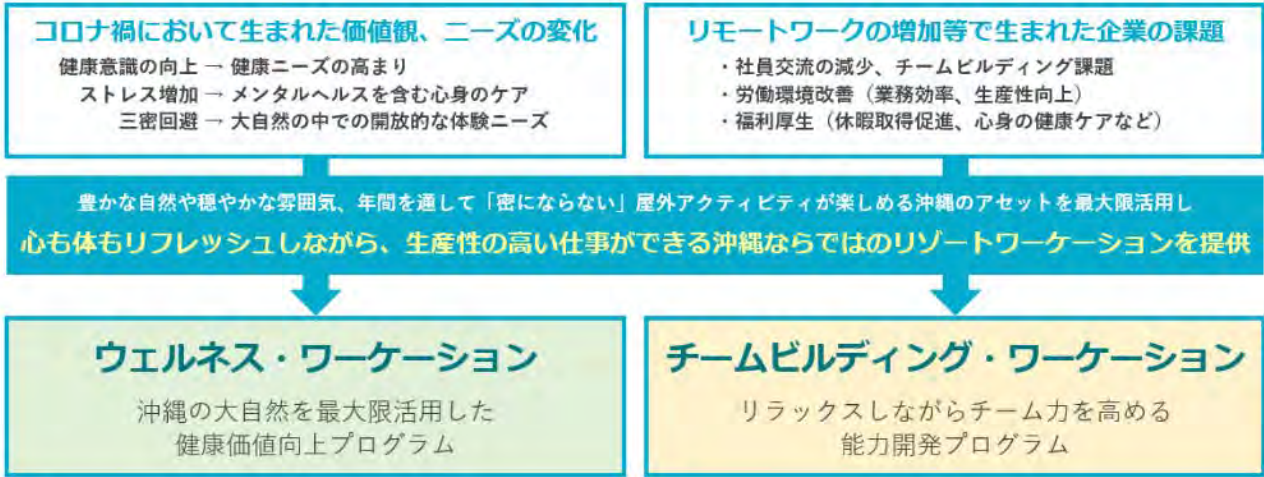
イベント事後リリース

■ 沖縄県の登壇スライド一例

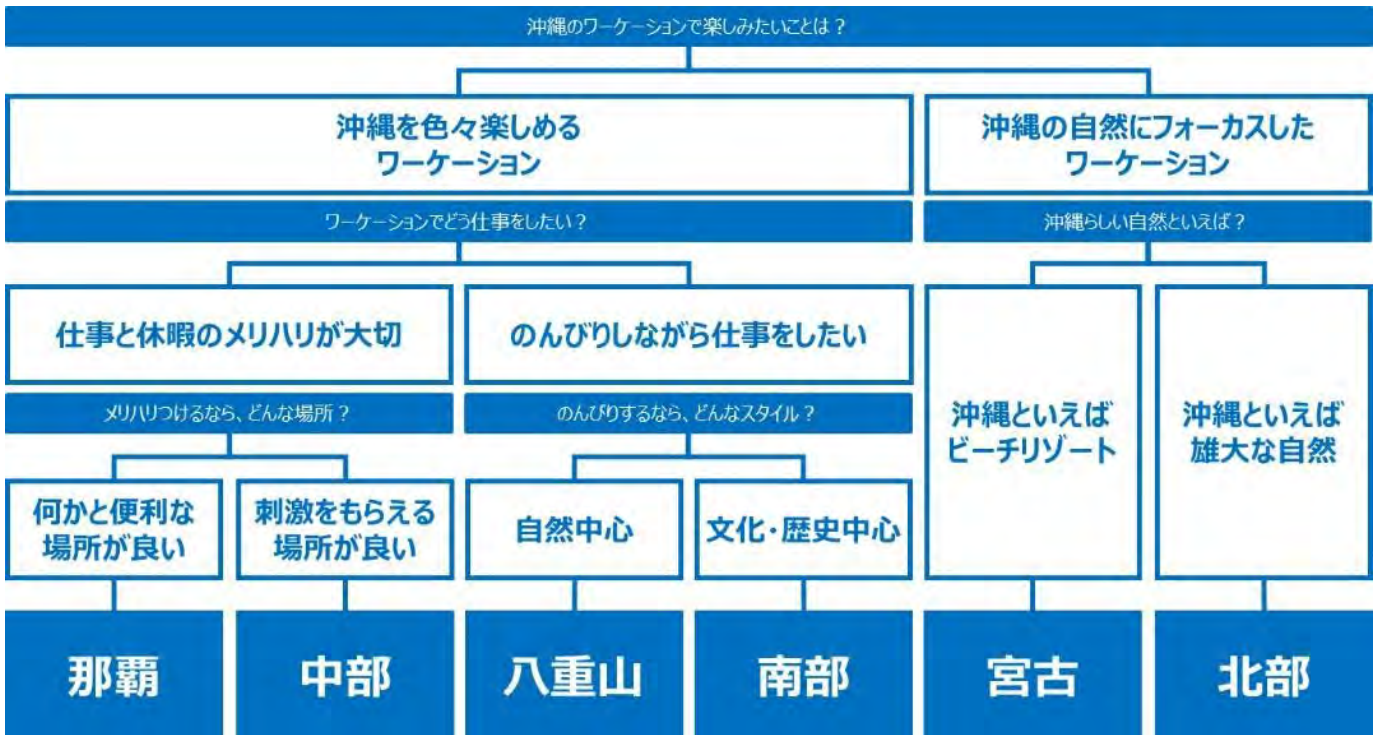


開発の背景：沖縄ならではのワーケーション開発を目指して

沖縄ならではの2方向のワーケーション要素



【ワーケーションエリアフローチャート】



■ ウェビナーの実施

イベント事後リリース

■ 地域特性を活かした沖縄ワーケーションモデルプラン例



那覇エリア

オン・オフバランス型

都市機能と首里・琉球文化が融合した那覇エリアで、仕事と余暇のメリハリをつけながら過ごすワーケーションプラン



【那覇エリア】オン・オフバランス型

琉球王国時代から続く沖縄県の政治・経済・文化の中心地、那覇。都市としてだけでなく古都首里の趣や様々な市場をはじめとした変わらぬ庶民の生活に触れられる文化都市。

那覇空港より車で約10分 / 沖縄都市モノレールで約13分前後 ※所要時間は国際通りで算出

ウェルネスコンテンツ例

自然・文化体験



首里金城町散策



雑貨・アート散策



伝統工芸体験 (琉球漆器/缸型)



うちな一食堂めぐり



琉球八食めぐり



泡盛酒造めぐり

チームビルディングコンテンツ例

自然・文化体験



まちまーい (首里まちめぐり)



壺屋焼き職人体験



沖縄料理体験×市場あるき



親子向けコンテンツ例



サンゴ染体験



美術館/歴史博物館

ワーケーション関連施設

コワーキングスペース例

- ・howlive タイムスビル店
- ・Co-Works
- ・プリリアントポート
- ・hais シェアオフィススペース
- ・RJ WORKS国際通り



howlive

ホテル例 ※

- ・ホテル ストレータ 那覇
- ・ヴィラコースト西町
- ・ダブルツリーbyヒルトン那覇 首里城
- ・ホテル アンテルーム那覇
- ・沖縄ハーバービューホテル
- ・KARIYUSHI LCH, Izumizaki 県庁前
- ・COMMUNITY & SPA那覇セントラルホテル
- ・ホテルパームロイヤルNAHA国際通り
- ・ザ・ナハテラス
- ・ダブルツリーバイヒルトン那覇



ザ・ナハテラス

沖縄ハーバービューホテル

ホテルパームロイヤル NAHA国際通り

■ ウェビナーの実施

イベント事後リリース



北部エリア

ネイチャー
リフレッシュ型

やんばるの森や長寿文化が息づく
北部エリアで、大自然に触れながら
心身リフレッシュし、集中して
仕事できるワーケーションプラン



恩納村や亜熱帯のジャングルやマングローブ林などの
大自然と希少な生物の宝庫のやんばる国立公園、
長寿文化など、自然の豊かさが溢れるエリア。

那覇空港より沖縄自動車道で
約1時間-2時間30分前後
※所要時間は恩納村役所、辺戸岬で算出



【北部エリア】ネイチャーリフレッシュ型

ウェルネスコンテンツ例

自然・文化体験



森林浴/瞑想



サイクリング



森&湖畔ノルディック
ウォーキング&ヨガ



ビーチヨガ
SUPヨガ

食体験

とれたて島野菜
&フルーツ体験
(収穫体験/直売所/
農園カフェなど)



チームビルディングコンテンツ例

自然・文化体験



やんばる
トレッキング



ジップライン

食体験



慶佐次川
マングローブカヌー



やんばるピクニック

親子向けコンテンツ例



ヤンバルクイナ
観察ツアー



サンゴ再生
コース

ワーケーション関連施設

コワーキングスペース例

- ・ HENTONA LOUNGE
- ・ SEASIDE OFFICE
- ・ コワーキング
ラウンジ「ハナワール」
- ・ カヌチャ
リアンリゾートオフィス



SEASIDE OFFICE

ホテル例 ※

- ・ ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート
- ・ ハイアットリージェンシー瀬垣垣アイランド沖縄
- ・ ベストウェスタン
- ・ かねひで喜瀬ビーチパレス
- ・ リザンシーパークホテル谷茶ベイ
- ・ ホテルゆがふいんおきなわ
- ・ ザ・プセナテラス
- ・ ジ・アッタテラスクラブタワーズ



ANAインターコンチネンタル
万座ビーチリゾート



ザ・プセナテラス



カヌチャベイホテルのヴィオラズ

※受入環境調査において「ワーケーション取組み」回答のあったホテル

＜本件に関する報道関係者のお問い合わせ先＞

沖縄県 文化観光スポーツ部 観光政策課 杉浦

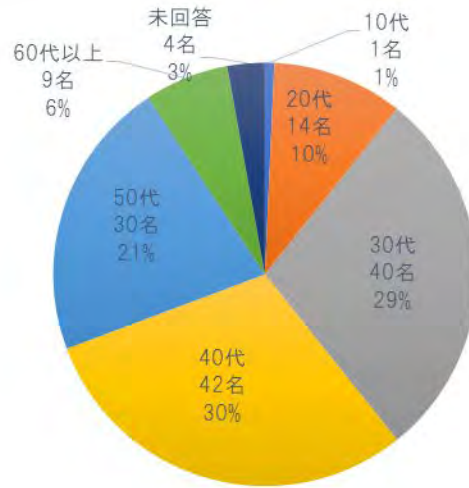
TEL:098-866-2763 MAIL: sugiurag@pref.okinawa.lg.jp

「沖縄ワーケーション促進事業」PR事務局(株式会社サステナブル内) 有山・阿部

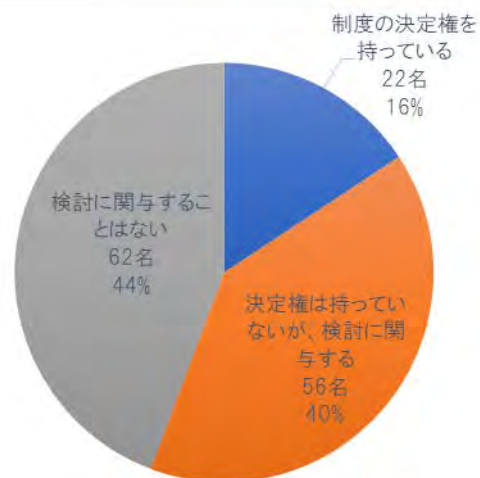
TEL 03-3376-6665 MAIL: g.ariyama@sustainable.co.jp

■ ウェビナーの実施（事前登録時アンケート）

年代	票数	%
10代	1	0.7
20代	14	10.0
30代	40	28.6
40代	42	30.0
50代	30	21.4
60代以上	9	6.4
未回答	4	2.9

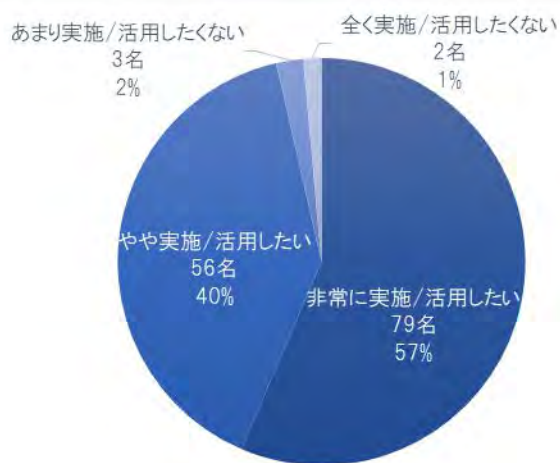


会社/所属組織での「働き方制度」への関与について教えてください。	票数	%
制度の決定権を持っている 22名	22	15.7
決定権は持っていないが、検討に関与する 56名	56	40.0
検討に関与することはない 62名	62	44.3



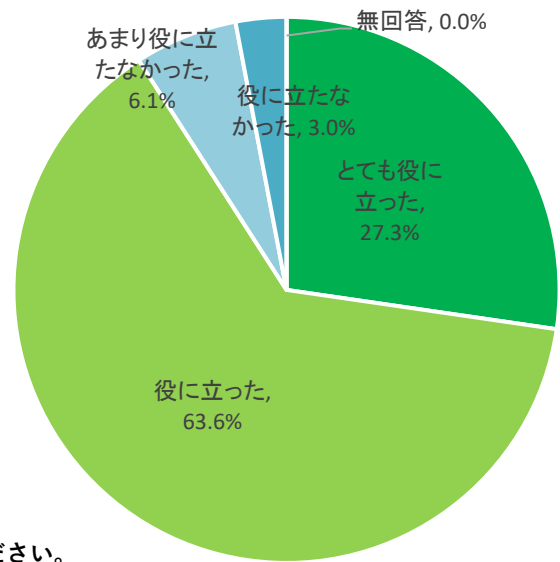
■ ウェビナーの実施（事前登録時アンケート）

あなたはワーケーションを実施/活用したいと思いますか。	票数	%
非常に実施/活用したい	79	56.4
やや実施/活用したい	56	40.0
あまり実施/活用したくない	3	2.1
全く実施/活用したくない	2	1.4



■ ウェビナーの実施（事後アンケート）

Q1.今回のウェビナーは、どれくらい役に立ちましたか？	回答数	%
とても役に立った	9	27.3%
役に立った	21	63.6%
あまり役に立たなかった	2	6.1%
役に立たなかった	1	3.0%
無回答	0	0.0%
全体	33	100.0%

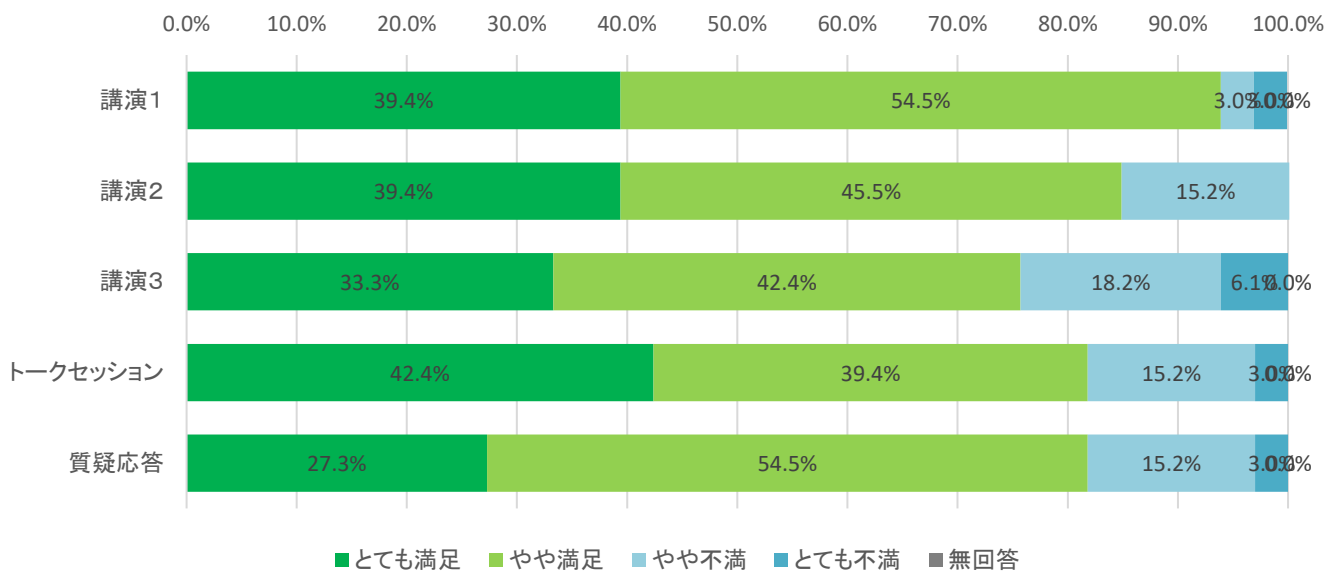


Q2.上記回答の選択理由や、ウェビナーのご感想をお聞かせください。

1	沖縄が適していることを確かめたかったから。
2	沖縄県のワーケーションに関する取り組みに関して改めて知ることができ、参考になりました。
3	ワーケーションの実態を理解できた
4	具体例が豊富でわかりやすかった。
5	魅力的で、実際に体験したいと思いました。
6	沖縄の観光の現状を知ることが出来有意義だった。
7	今後の課題等を再認識することができました。ありがとうございました。
8	今、まさに沖縄にワーケーションに来ております。既にかなりワーケーションをしているので、これからみなさんがワーケーションしやすい時代になれば良いですね。
9	体験者の話が聞けてよかった。また単なる観光情報の発信だけでなく、ワーケーションを体験してみたいという人への基本的な情報発信の必要性を山下さんのお話から改めて感じる事ができた。
10	まだまだワーケーションは黎明期なので「自由に選べる」ということを基本に方向性を探っていくことが大切だと思います。
11	色々と勉強になりました。ただ、全体的なまるっとした内容だったので、具体的な内容が乏しく、実際に検討中の我々には、物足りないと感じました。
12	モニターツアーの参加数が少なく、これで結論づけてよいものなのか、と感じました。
13	家族をターゲットにしたモデルプランの紹介等、わかりやすい内容でした。
14	子連れワーケーションは面白い
15	前日にも別のワーケーションセミナーを受講していたため、沖縄県の優位性についてよく理解できた。
16	JTBS山下さんのお話で、ワーケーションに関わる環境がよく理解できました。また皆さんのお話から沖縄の魅力が伝わってきました。
17	モニターツアー参加者の声やトークセッションでの話が沖縄のワーケーションを感じることができました。
18	様々な情報が提供されていたため。
19	家族レジャー型のワーケーションに特化していて良かった面もあるが、一方でワーケーションは千差万別でマーケットも求められるものも異なるように思うから。
20	ビジネスとして沖縄ワーケーションを広げていく必要があることがわかりました。
21	沖縄県として取り組む姿勢は感じられた。ただ、全国のワーケーション推進自治体との差異（優位点）がわかりづらい。県と県内自治体の協力体制、補助金などを具体的に示して欲しかった。また、ワーケーション体験は将来の移住促進の入り口として位置づけられているのかも示していただければよかったかと。
22	沖縄ワーケーションの魅力ではなく、パッケージの魅力を語っている内容だったため
23	ワーケーションの説明などがすでに知っている内容だったので残念
24	色んな立場の方が参加されており様々な視点のお話を1回で聞くことができてとても良かったです。ありがとうございました。ワーケーションが必要とされている理由やその場所として沖縄が推奨される理由がよく分かりました。次は企業で実際に導入する場合のメリットデメリットについてもう少し実態を聞いてみたいと感じました。
25	わかりやすかったと思います。費用に関するデータもあればもっと良かったかも。。。
26	イメージが膨らんだ
27	沖縄でリラックスしながら仕事ができるのか疑問に思っていたが、仕事ができる環境が整っていることや、リフレッシュタイムでイキイキとしている方の映像を実際にみる事ができてイメージがわかりました。
28	家族同伴での中長期ワーケーションとても重要なテーマと思いました。あとは継続、発展させるための人材、組織、ネットワークをどのように構築するかということが、沖縄にとって重要と思いました。
29	今後の参考となった。
30	具体的な生活イメージができました。
31	沖縄県の地域特性を活かしたモデルプランの紹介やワーケーションのモニターツアーを知れて、ワーケーション企画の参考になりました。
32	新しい働き方のモデルを見れた。いまの流れを見れた。
33	観光めぐりと違う視点がワーケーションにはあること。海や夏休みのイメージが多い沖縄ですが、夏季シーズンは台風シーズンと重なり、天候が不安定なのが懸念でした。海だけではなく、改めて沖縄の森林の魅力を感じ共感してます。また、春、秋、冬の方が天候も安定し、むしろ滞在しやすいことにも共感しました。

■ ウェビナーの実施（事後アンケート）

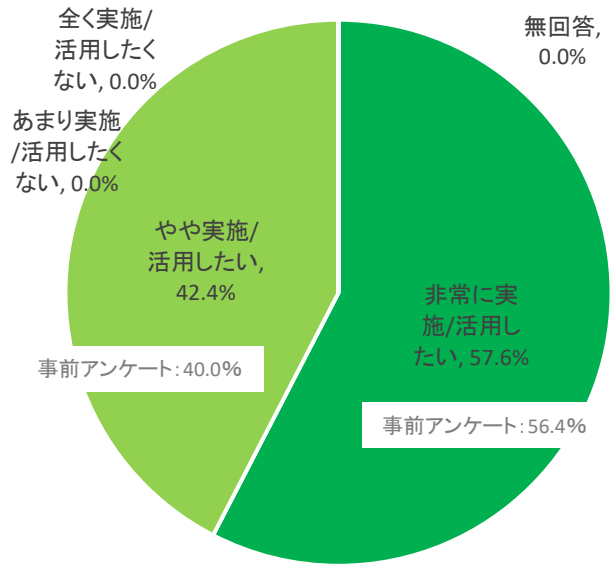
Q3. ウェビナーの各パートについての満足度をお聞かせください。



	とても満足	やや満足	やや不満	とても不満	無回答	全体
講演1：沖縄におけるワーケーションの可能性	13	18	1	1	0	33
	39.4%	54.5%	3.0%	3.0%	0.0%	100.0%
講演2：沖縄ワーケーション 地域特性を活かした6つのモデルプランご紹介	13	15	5	0	0	33
	39.4%	45.5%	15.2%	0.0%	0.0%	100.0%
講演3：やってみてわかった！「新しい働き方」実践ライターがレポートする、沖縄ワーケーション・モニターツアー	11	14	6	2	0	33
	33.3%	42.4%	18.2%	6.1%	0.0%	100.0%
トークセッション：沖縄ワーケーション活用術 「家族同伴ワーケーション」を成功させるには？	14	13	5	1	0	33
	42.4%	39.4%	15.2%	3.0%	0.0%	100.0%
質疑応答	9	18	5	1	0	33
	27.3%	54.5%	15.2%	3.0%	0.0%	100.0%

■ ウェビナーの実施（事後アンケート）

Q4.あなたはワーケーションを実施/活用したいと思いますか？	回答数	%
非常に実施/活用したい	19	57.6%
やや実施/活用したい	14	42.4%
あまり実施/活用したくない	0	0.0%
全く実施/活用したくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	33	100.0%



Q5.ウェビナーをご覧になって、ワーケーションに期待することは何かありますか？

1組織内のコミュニケーション量の増加
2新しいワーク&ライフスタイルの実現
3犬をつれていけるワーケーション。日本の世帯の25%がペットを飼っているのに、ニーズは多い。ペットを置いていけない。
4現地の情報
5地域の方とのコミュニケーションの場
6モニターツアーの定期的実施。
7LTVと生産性の向上
8わーで日本人の多くが時間と人生を有効に使える社会になれば良いと考えています。
9働き方の改革
10ワーケーションを受け容れる側も、実行する側も、最初から完璧なものを求めずに「一緒に作り上げていく」という感覚が必要なのではないかと思っています。自分たちが利用しやすいように、企画の段階から参加できれば、それが関係人口にもつながっていくと思います。
11チームとしての生産性向上、家族サービスの質の強化
12地域の事業者の活性
13沖縄の観光受入の一つの手段として大きな可能性を期待
14日本社会での受け入れ環境を誰が、どう創っていけるのか？期待します。
15働きがいの向上
16新しい自分の発見。
17長期滞在型の旅行。その場所でしか体験できないリアルな環境。
18日本においても、先進国並みにワークライフバランスが意識された働き方改革が推進されること、また、その点において沖縄県が、その持てる可能性を十分に発揮できること。
19マーケットが大きくなるかは不明だが、色々な関係人口や交流人口拡大の可能性を持っている。
20しっかりワーキングをできる環境を整えること
21インフラ整備（コワーキングスペース、Wi-Fi等）
22リアリティの無い議論はやめて、本当に実行可能なワーケーションを語ること
23子どもがいるので、親子でワーケーションができる受け皿がほしい
24会社で導入を検討する立場として一番の目的は「長期休暇取得の促進」です。その点で沖縄は一番有効だなと感じました。あとは、どうすれば導入できるのか、もう少し深く考えていく材料が欲しいなと思いました。
25テレワーク以降、どんどん体調が悪くなってきていると感じているので、やはり体調への影響になります。
26ライフの更なる充実
27気分転換 仕事後すぐに遊べる自由さ
28ワークライフバランスではなく、ワークアズライフとしてのQOLの向上。
29地域活性化
30様々なパターンがあると思うので、失敗事例も含めて聞いてみたい。
31旅先でしか経験できないような体験
32新たな地域との繋がり
33・夏季シーズン以外の利用・観光以上の長めの滞在・春/秋/冬の沖縄

■ ウェビナーの実施（事後アンケート）

Q6. ウェビナーをご覧になって、ワーケーションの実施/活用のハードルは何だとお考えですか？

1	wifi環境の整備、是非お願いします。海外の対応に近づけていただきたい。
2	家族同伴時、相方の会社のリモートワークへの理解
3	会社の就業規則。ペットOKのワーケーションスペース
4	意思
5	企業の制度
6	会社の理解
7	社の労務制度と家族の理解
8	会社の制度
9	企業側の意識と環境整備
10	会社におんぶにだっこするようなワーケーションは失敗します。あくまで自主的なワーケーションを求めていかないと、会社・社員ともに満足のいくものは出来ません。
11	夫婦の職場が異なる場合に休みを合わせられるかどうか
12	まだまだワーケーションに投資をする事のメリットが見えなかったり、ワーケーション=旅行 感が抜けない。
13	企業や利用者の意識改革
14	上記コメント
15	企業側のインフラ整備、従業員の意識改革
16	企業側の就業規則の変更。
17	ワーケーションという概念のさらなる定着。
18	情報不足から来る不安感。
19	観光レジャー型の拡大には、会社員と公務員が実施できる組織側の条件整備が必要。
20	長期滞在に必要なハードウェアの充実
21	企業サイドの意識（労務管理）
22	会社員が家族同伴ワーケーションの場合、交通費や宿泊費は、当然、全額が自己負担ですよね？本当にそれでも、日中に仕事をしたいと思う会社員はいると思いますか？
23	子どもの預け先
24	最後の質疑応答でも仰っていましたが、まずは旅行先で仕事することを会社としてOKするのか？OKするのであればどのようなフローが必要か？具体的にいくつか段階を踏んでいかなければ、一概に他社事例を並べても難しいのかなと感じました。
25	正直、結構なお金が掛かりそうですね。あと業務調整。夫婦でテレワークですが、私はノートパソコンで問題ないのですが、嫁が会社貸与のデスクトップなのでこれも問題です。質問しましたが、やはりペットが心配ですね。あと、子供と言っても幅が広いので、選択場所によってはやることなかったり飽きたりしそうです。何歳位はどの地域推奨などの区分けも必要かも。
26	情報
27	仕事ができる環境 犬が連れていける環境
28	職場と学校の両方共に、時間、場所の制限、拘束を無くすこと。家族同伴ワーケーションには不可欠と思いました。
29	企業経営層の理解深度
30	家族の総意。安定した仕事。
31	ワーケーションを企業で実施する際の制度設計と労務管理
32	仕事がどれだけリモートに対応しているか。また、リモートワークが推奨されている職場か。
33	親子や家族連れのワーケーションの際 Work中に、安心して子どもを預けられる開拓や整備

Q7. 沖縄ワーケーションを実施/活用したいと思いますか？	回答数	%
非常に実施/活用したい	19	57.6%
やや実施/活用したい	14	42.4%
あまり実施/活用したくない	0	0.0%
全く実施/活用したくない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	33	100.0%

